

September 7, 2020

**【前日の為替概況】ドル円、米8月失業率8.4%への低下を受けて、106.51円まで強含み**

4日のニューヨーク外国為替市場でドル円は小幅上昇。終値は106.24円と前営業日NY終値(106.19円)と比べて5銭程度のドル高水準。米労働省が発表した8月米雇用統計で、非農業部門雇用者数は前月比137.1万人増とほぼ予想通りの結果となったが、失業率が8.4%と予想の9.8%より強い数字となったことを受けて全般ドル買いが先行。平均時給が前月比0.4%上昇/前年比4.7%上昇と予想を上回ったこともドルの支援材料となり、106.51円と日通し高値を付けた。しかし、一時は240ドル超上昇したダウ平均が失速し620ドル超下落するとリスク回避的な円買いが入り、106.18円付近まで反落。NY午後には欧州・オセアニア通貨に対してドル売りが進んだ影響も受けた。

ナスダック総合は一時5%超急落する場面があった。クドロー米国家経済会議(NEC)委員長が新型コロナウイルス危機を乗り切るための追加景気対策を巡り「成立しなくても構わない」と述べたことも株価下落の要因となったようだ。

ユーロドルは4日続落。終値は1.1838ドルと前営業日NY終値(1.1852ドル)と比べて0.0014ドル程度のユーロ安水準。良好な8月米雇用統計を受けてドル買いが先行すると、前日の安値1.1789ドルを下抜けて一時1.1781ドルまで値を下げた。米国の3連休を控えた週末とあってポジション調整目的のユーロ買い・ドル売りが入り一時1.1855ドル付近まで持ち直した。

パウエル米連邦準備理事会(FRB)議長は、「本日の雇用統計は良い結果だった」「雇用の増加は多くが予測したよりも速い」「経済は何年も低金利を必要としている」などと述べたと伝わった。

ユーロ円は小幅ながら3日続落。終値は125.77円と前営業日NY終値(125.85円)と比べて8銭程度のユーロ安水準。米国株相場の急落をきっかけに投資家がリスク回避姿勢を強め円買い・ユーロ売りが先行し、125.30円と日通し安値を付け後、ユーロドルの下げ渋りで125.90円付近まで値を戻した。

**【本日の東京為替見通し】NY市場休場で動意薄の中、中国の8月対米貿易黒字に要注目か**

本日の東京外国為替市場のドル円は、ニューヨーク市場がレーバーデーで休場となることで動きづらい展開が予想される中、8月24日に開催された米中第1段階通商合意の履行状況を検証する会談で前向きに評価された中国の対米貿易黒字を見極めることになる。

本日発表される中国8月の貿易収支では、対米貿易黒字に要注目となる。7月の対米貿易黒字は324.6億ドルとなり、過去最高だった2018年11月の355億ドルに迫っており、米大統領選での再選に向けて米中貿易不均衡の是正を目指してきたトランプ米政権からの不満が高まりつつある。8月24日の米中第1段階通商合意の履行状況を検証する電話会談は、バイデン民主党大統領候補による米大統領選挙に向けた批判を回避するために開催された。米中両国とも前向きな評価をしたものの、実際は中国による米農産物の輸入が合意以下に留まっており、香港、台湾、南シナ海を巡る米中対立が激化しつつある中、予断を許さない状況が続くことになる。

米8月雇用統計は、パウエルFRB議長が、FRBの2つの使命「デュアルマニデート(雇用最大化と物価安定)」の内、「雇用最大化」を重視して、「物価安定」に関しては「2%平均インフレ目標」により、2%超のインフレ率を容認する新戦略を打ち出したことで、注目度が増していた。米8月非農業部門雇用者数は、前月比137.1万人となり、7月の+173.4万人(改定値)からは、増加幅が減少していた。国勢調査のため臨時雇用された政府機関雇用者数が23.8万人となっており、雇用者数は、依然としてパンデミック前の水準を1154.9万人程度下回る。すなわち、3月と4月で2216万人の職が失われたが、依然として約半分の雇用が失われたままとなっている。また、恒久的に職を失った人の数が50万人余り増えて341万人となっている。米8月失業率は、8.4%となり、7月の10.2%から低下していた。しかし、労働省は、失業者が誤って雇用状態にあると分類されたケース「雇用されているが休職中」を調整していれば、失業率は0.7ポイント上回り、9.1%となる、と説明している。

米8月の雇用統計を受けて、来週15-16日の米連邦公開市場委員会(FOMC)では、フォワードガイダンスの強化や量的金融緩和の拡大観測が高まっていることで、ドルの上値は限定的となる。

15-16日のFOMCに向けて、ブラックアウト期間は前々週の土曜日(9月5日)から始まっていることで、難航している米国財政審議や米8月の雇用統計に対するFRB高官の見解は聞くことができない。

**【本日の重要指標】** ※時刻表示は日本時間

## &lt;国内&gt;

- 08:50 ◇ 8月外貨準備高
- 14:00 ◇ 7月景気動向指数速報値（予想：先行 84.9／一致 77.2）

## &lt;海外&gt;

- 未定 ◎ 8月中国貿易収支（予想：505.0億ドルの黒字、3860.0億円の黒字）
- 15:00 ◎ 7月独鉱工業生産（予想：前月比 5.4%／前年同月比▲6.3%）
- 米国、カナダ（レーバーデー）、ブラジル（独立記念日）、休場

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

## 【前日までの要人発言】

4日 12:53 モリソン豪首相

「都市封鎖の解除など、経済活性化に向けた計画を12月までに策定する」

4日 15:54 ルメール仏財務相

「景気後退の度合いは当初の予測ほど悪くない」

4日 18:42 サンダース英中銀金融政策委員会(MPC)委員

「追加緩和が適切となる公算が高い」

「マイナス金利に対する再調査は終わっていないが、理論的にはマイナス金利に反対しない」

4日 20:49 英首相報道官

「欧州連合(EU)との貿易協議、EU側はより現実主義となる必要がある」

4日 21:04 ノバク露エネルギー相

「原油相場を過熱させないための、あらゆる手段を備えている」

「原油価格は21年には60ドルを超えるだろう」

4日 23:32 クドロー米国家経済会議(NEC)委員長

「次のウイルス援助法案の規模と範囲で意見の不一致が広範囲に及ぶ」

「新型コロナウイルス援助法案が成立しなくても我々は構わない」

「トランプ政権は航空会社が援助が必要なら準備が整っている」

5日 00:11 ジョーダン・スイス国立銀行(スイス中銀、SNB)総裁

「スイスは為替操作国ではない」

「スイスの特別な状況を米国に説明した」

「為替介入は現時点では最も重要な手段だ」

「スイスフランは過大評価されている」

「スイスフランが過大評価されている限り拡大政策を継続する」

「マイナス金利と為替介入への高度な準備は重要なまま」

5日 01:03 トランプ米大統領

「日本時間6時に記者会見を行う」

「セルビアとコソボは経済正常化に同意」

5日 02:07 フロスト英・欧州連合(EU)担当交渉官

「我々はEUとは建設的に交渉するが、現実的にEUのスタンスは来週達成できる進捗を制限する可能性がある」

「我々は当初から、国の援助や漁業の分野で何を受け入れることができるかを明確にしてきた」

5日 02:31 ローゼングレン米ボストン連銀総裁

「市場はFRBが当面利上げをしないことを理解している」

「雇用統計は私の予想よりも強かった」

5日 03:48 オブライエン米(国家安全保障問題担当)大統領補佐官

「中国が米国の選挙に干渉しようとしている最大の計画を持っている」

「海外からの妨害行動がどのように選挙に影響を与えるかを知るのは難しい」

5日 04:42 パウエルFRB議長

「本日の雇用統計は良い結果だった」

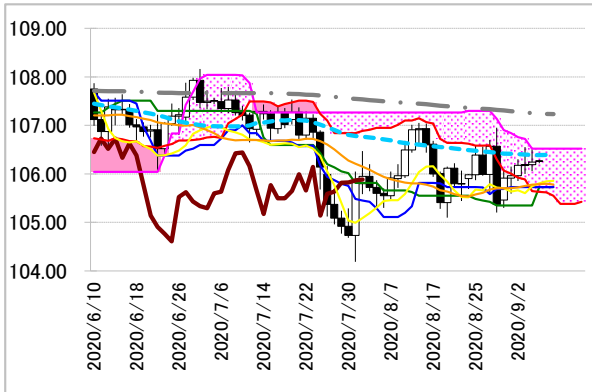
「雇用の増加は多くが予測したよりも速い」

「経済は何年も低金利を必要としている」

「マスク着用とソーシャルディスタンスにより非常に大きな経済の上昇を得ている」

※時間は日本時間

## 〔日足一目均衡表分析〕

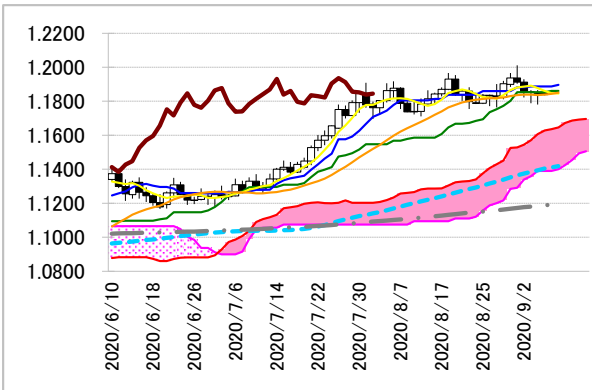


### <ドル円=雲の上限を抵抗に戻り売りスタンス>

小陽線引け。一目・転換線は基準線と同値、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の中で引けているものの、転換線を上回って引けていることで買いシグナルが優勢な展開。しかし、5手連続陽線で反発したものの、28日の大陰線を上回ることが出来なかったことで、反落の可能性が示唆されている。

本日は、雲の上限を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	107.02(日足一目均衡表・雲の上限)
前日終値	106.24
サポート1	105.96(日足一目均衡表・雲の下限)
サポート2	105.20(8/28 安値)

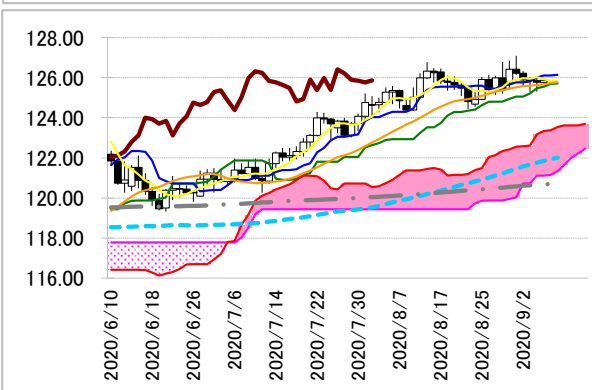


### <ユーロドル=転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯中。高値圏での孕み線、4手連続陰線で転換線を下回って引けていること、逆行現象(ダイバージェンス)などで、続落の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	1.1887(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	1.1838
サポート1	1.1763(8/27 安値)

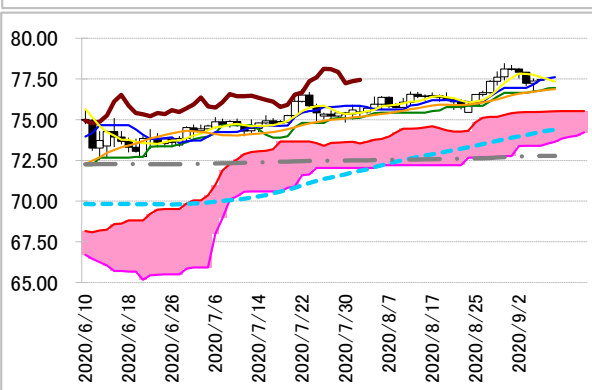


### <ユーロ円=転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯中。しかし、4手連続陰線で転換線を下回って引けていることで、続落の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	126.11(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	125.77
サポート1	125.14(8/27 安値)



### <豪ドル円=基準線を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯中。高値圏での寄り引同事線、3手連続陰線で反落後、孕み線で反発しており、続伸の可能性が示唆されている。

本日は、基準線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	78.46(8/31 高値)
前日終値	77.36
サポート1	76.78(日足一目均衡表・基準線)

